

都市の3Dデジタルマップの実装に向けた
今後の展開について

- 先行実施エリアのスマートサービスの充実に加え、都内各地のスマートサービスの創出促進、デジタルツインの基礎となる3D地形データの都内全域での整備、区市町村との連携強化により、都内の様々な地域においてデジタルの力によるQOL向上を実現

「スマート東京」先行実施エリアの取組強化・横展開

先行実施エリアにおけるスマートサービスの充実

西新宿	都心部	南大沢	ベイエリア	島しょ地域
5G 自動運転 スタートアップ	リアルタイムデータ 都市OS	ローカル5G モビリティ	テクノロジーの実装 スタートアップ集積	島しょ地域の 社会課題解決
・大学と連携した5G活用サービスの創出等	・都市OSを活用した分野横断的なサービス実装等	・地域課題を踏まえた、モビリティサービスの創出等	・自動運転や空飛ぶクルマの実現に向けた取組の推進等	・島民や観光客向けのデリバリーサービスの導入等

スタートアップの機動力を活かし、新たなスマートサービスを多数実装

- 民間事業者を通じ、スタートアップの掘り起こしや、スタートアップとエリア構成企業との協業促進・VCとのマッチング支援等により、新たなスマートサービスの実装事例を3年間で60件創出

先行実施エリアの成果事例の共有及び各地域における取組支援

- 先行実施エリアの成果事例を都内区市町村等と共有するとともに、Webサイト等で広く発信
- 先行実施エリア以外の地域のスマート化に向けた取組を促進するため、財政的支援やコンソーシアム組成に対する支援等を実施

デジタルツインの実現に向けた基盤整備を加速

デジタルツインの基礎となる3D地形データを都内全域で整備

- 都内全域の3D地形データを2022年度中に取得し、順次、デジタルツインに反映

防災分野での先行的活用

- 3D都市モデル等の上で浸水や土砂災害の被害状況をシミュレートし、行政機関の効果的な災害対応のオペレーションにつなげる
- 他の8分野については、各地域の特性等を踏まえ、今後優先的にサービスを実装すべき分野を決定

東京データプラットフォームの本格運用に向けた取組を推進

- 本格運用開始に向けてデータ連携基盤の構築を進めるとともに、試験運用によりユースケースを創出

都市のデジタルツインのイメージ

デジタルツインの注力9分野

先行着手分野

- 防災
- まちづくり
- モビリティ
- エネルギー
- 自然
- ウェルネス
- 教育
- 働き方
- 産業

● 「スマート東京」先行実施エリア
 ● 3Dデジタルマップ作成済エリア
 (2021年度末までの見込み)

「つながる東京」の早期実現

多様な主体と連携したアセット開放

- 5G基地局整備を加速させるため、国や区市町村との連携に加え、民間企業と協定を締結し、アセット開放を促進

都内通信環境の調査及び通信困難地域の解消

- 都内の通信基盤の状況について、エリアごとに定期的に調査を行うとともに、通信困難地域の解消等に向け、基地局施設等の整備に係る町村負担分を支援

都内の様々な地域において
 デジタルの力によるQOL向上を実現

オール東京でのDX推進

区市町村との連携強化

- 都内区市町村との連携を強化し、東京全体のデジタル化を加速する共同研究・調査を実施

デジタルデバイドの是正に向けた地域の取組支援

- 地域のスマートフォン教室等の取組を支援する人材について、新たな認証制度「TOKYOスマホサポーター（仮称）」を創設

3か年のアクションプラン（主要）

具体的な取組（主要）	2021年度末 (見込み)	年次計画		
		2022年度	2023年度	2024年度
スマートサービスの実装	—		実装促進（3年間で60件）	
東京データプラットフォームの構築		試験運用開始		本格運用開始

都市の3Dデジタルマップ化プロジェクト【都市整備局】

都市の図面を3Dに精緻化し、リアルタイムデータの付加も視野に入れた「都市の3Dデジタルマップ」を構築

- ・ 防災DX等の早期実現を支えるデジタルツインの基盤高度化に向け、区部市街地全域の点群データを取得【拡充】
- ・ 高度に機能集積する都市再生緊急整備地域で、地上地下の3D都市モデルを構築し、整備エリアを拡充【拡充】
- ・ デジタルツインの社会実装や都市づくりのDXなどを支える情報基盤として求められるデータ仕様等の拡充（2021年度をアップデート、継続的にアジャイル）



地域における再エネシェアリング推進プロジェクト【環境局】

地域の再エネを無駄なく活用するため、再エネの自家消費とともに地域全体でのエネルギーシェアリングを推進

- ・ 2021年度に導入した太陽光発電施設や蓄電池、再エネ由来水素設備、EV等を活用し、再エネシェアリングを実施
- ・ 2021年度に開設した特設ホームページでの情報発信、都民参加型再エネ体験の提供など、本事業の理解促進のための広報を展開



スマート農林水産業 プロジェクト【産業労働局】

DXの推進により、東京の農林水産業が抱える課題の解決と、「稼ぐ農林水産業」を実現

- ・ 農業：プラットフォームで得たシーズ等を活用した研究開発プロジェクトを実施し、その成果を提示【拡充】
- ・ 林業：2021年度に構築した多摩産材流通効率化システムを活用し、多摩産材の伐採搬出と流通の効率化を開始
- ・ 水産業：2021年度に構築した基本システムを活用し、海況予測サービス実装に向けた先行運用及び情報提供を開始



TOKYOスマート・スクール・プロジェクト【教育庁】

学びのスタイルを「知識習得型」から「価値創造・課題解決型」へと転換

- ・ 高校段階の一人1台端末整備(2022年度新入生から)【新規】
- ・ 一人1台端末体制に向けた通信環境の整備【拡充】
- ・ 都立学校全校にデジタルサポーターを常駐配置
- ・ TOKYOデジタルリーディングハイスクール事業【新規】
- ・ 区市町村立学校へのデジタル利活用支援員配置支援【新規】
- ・ 区市町村立学校へのGIGAスクール運営支援センター整備支援【新規】



AIとビッグデータを活用した交通管制システムの高度化プロジェクト【警視庁】

AIとビッグデータを活用して交通管制システムや信号制御の高度化を図り、交通の更なる円滑化を推進

- ・ AIによる信号調整案の実フィールド運用に向け、対話型※のシステムを構築し、運用確認を実施
※ 交通管制センター勤務員が信号調整案の妥当性を確認しながら実行するシステム
- ・ プローブデータを活用して、車両感知器等がない道路の交通状況予測を行うシステム改修を実施



デジタルソリューション活用モデル@東京2020大会プロジェクト【生活文化スポーツ局】

東京2020大会に向けた通信インフラの整備や安全・安心な運営等をモデルとし、大会後に開催される大規模国際イベントをはじめ、社会全体でレガシーとして活用

- ・ ライブサイト会場（代々木公園内）として仮設整備された5GやWi-Fiを、転用されたワクチン接種会場の運営に活用
- ・ 多言語放送システムを各競技会場に導入し、7言語での文字配信を実施、都立12施設で引き続き活用
- ・ 観客用Wi-Fiを19会場に整備、大会後も12施設で一般利用や国際大会、イベント等で活用



ロードマップのイメージ（改定版）

【対象エリア】

- ・ 都全域
- ・ 地域区分・ゾーン
- ・ 区市町村都計単位
- ・ 拠点地区・周辺地区
- ・ 街区・地区計画
- ・ 施設単位

～FY2021

～FY2024



詳細度

特定エリアや施設でユースケースを踏まえた詳細度

ユースケースやスケールに応じた詳細度、更新箇所でのバージョンアップ

データ連携による属性情報の拡充、3Dマップ自体の拡張

更新頻度

計画的なデータ更新

計画的なデータ更新

年単位の更新、一部リアルタイム化など即時性を高めるための更なる取組推進

データリソース (比率)

行政業務・施策で整備・利用が想定されるデータ
行政

民間
詳細度や更新頻度を向上に向け民間データの活用

短期

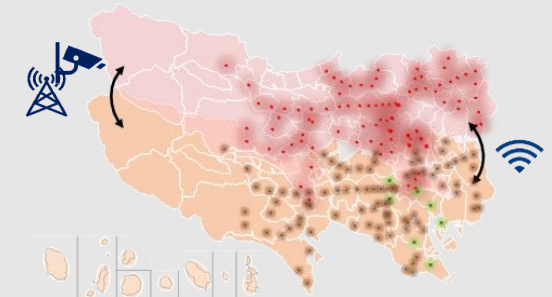
中期

長期

- ・ 5Gサービスの展開
- ・ 自動運転（レベル2・3）市場化
- ・ 測位システムの高度化

- ・ ローカル5G本格化
- ・ 自動運転（レベル4）市場化
- ・ ドローン飛行（レベル4）実現

- ・ 6Gの事業化
- ・ 自動運転（レベル5）開発・実用化



※2024年度までに都内全域で整備
※法定調査等に基づき、概ね5年毎に更新

エリア・詳細度の 拡大イメージ